

令和6年度（平塚支援学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上 （公務外非行の防止・ 職員行動指針の周知徹底）	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員としての服務について十分に理解し、公務外非行を未然に防止することができるように意識を高める。 ・教育公務員として、社会的な責任の重さを自覚し、一社会人としても法令遵守を徹底する。 	<p>服務について年度始めに管理職から周知説明がされた。また職員会議等の場で確認する機会を持ち、年間を通じて啓発をおこなった。年度途中に本校勤務となった職員に対しては個別に説明をすることが必要であった。</p>
職場のハラスメント行為の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・人権を尊重する意識と態度を向上させ、ハラスメントの根絶を図る。 	<p>職場のハラスメントについて、ハラスメントの定義、ハラスメントをする理由などを確認し、不祥事防止に努めることを確認した。</p>
児童・生徒に対する わいせつ・セクハラ行為の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の未然防止について当事者意識を持って取り組み、決められたルールを遵守する。 	<p>神奈川県ホームページより「学校におけるセクハラ、わいせつな行為をなくすために」の内容を職員全員で確認した。</p> <p>校長より県内のわいせつ事案について説明し、綱紀の保持について注意喚起した。</p>
体罰、不適切な指導の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・人権を尊重する意識と態度を向上させ、体罰、不適切な指導を行う職員ゼロを目標とする。 	<p>児童生徒指導について、不適切な指導とは何か、定義を再確認した</p> <p>体罰等、不適切な指導が起きる要因を確認し、共有した。</p>
入学選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止	<ul style="list-style-type: none"> ・規定に基づいた正式な段取りに従って、企画、運営、評価を行い、入学選抜に係る事故を防止する。 ・個別教育計画や進路指導に係る資料等の機密文書作成から回議、個別配付に至るまでの経過における事故を防止する。 	<p>他県の入試の採点ミスの事故を振り返り、他県で起こることは本県で起こる可能性がある、本校でも起こる可能性がある、と認識し、注意を怠らないことを確認した。</p> <p>一度流出した個人情報情報を完全に回収することは不可能であることをあわせて確認した。</p>
個人情報等の管理、 情報セキュリティ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県情報セキュリティポリシーに基づき、電子情報、パソコン等の電子機器の正しい管理について周知し、個人情報の紛失、流失及び情報ネット関係の事故を防止する。 	<p>対策重要度別に適切にファイルを保存するように呼びかけ、学校全体でデータの整理を行った。</p> <p>プリントアウトの際に書類が混ざってしまったアクシデントを受け、学校全体で個人情報の管理について研修・啓蒙を行った。</p>
交通事故防止	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で交通安全に努め、交通法規を順守する 	<p>政府公用オンラインに公開されている交通事故の様子を画像で確認した。</p> <p>飲酒していると事故率が上がることを認識した。</p>
業務執行体制の確保等	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容の多様性や複雑化にともなう執行体制のあり方や情報共有、チェック体制等の業務推進のための方法について見直しと改善を継続的に行う。 	<p>グループ部門連絡会で、業務の改善を行なった。</p> <p>行事や業務内容の見直しを行った。</p>
財務事務（会計）等の適正執行	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な私費の徴収・執行を行う ・備品を適切に管理する 	<p>私費会計のルールを学校全体で再確認した。会計班だけでなく、全職員が事故防止に努めることを確認した。</p>
危機管理・事故防止	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアについて ・給食について 	<p>校内のヒヤリハット・アクシデントについて共有し事故が起こりやすい場面を確認、再発防止に努めた。</p>

個別面談による防止への取り組み	・不祥事根絶に向け、全職員が一丸となって取り組むため、学校としての意思の疎通と統一を図る。	自己観察に係る面談等の機会も含め、管理職が全職員を対象に面談を適宜行い、不祥事防止について情報交換や意見交換を行なった。当事者意識と問題意識を持つよう働きかけた。
-----------------	---	---

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

今年度も不祥事防止会議で策定された不祥事防止プログラムの目標及び行動計画に基づき、事故・不祥事防止に係る職員研修を毎月実施した。この研修会では各回、設定されたテーマに応じて、担当する学部や分掌グループの職員が内容を考え発表するという取り組みを継続している。県教育委員会からの「不祥事防止職員啓発・点検資料」を活用し各職員が毎月のテーマによる自主点検を実施し、提出することも継続している。また、夏季休業中に全職員で、事故防止の取組として安全研修を行い、安全対策の一人ひとりの8月中の行動計画をたて安全対策を実行した。医療的ケア実施学部職員向けに例年4月に行ってきた研修と10月にも研修を行い医療的ケアのルールの確認やヒヤリハット案件の共有や過去の事案から学ぶ研修した。

ヒヤリハットやアクシデントに対して、関係職員、総括教諭、管理職が「原因を探る」ことを徹底してきた。職員間で「原因を探る」姿勢が育ってきていて、再発防止策を考え共有することができるようになってきている。今後も学校全体で継続していく。

校長との職員個別面談では、一人ひとりの職場の悩みや困りごと、心配ごとについても懇親的に聞きとりを行い、必要に応じて早期の対応を心がけてきた。

昨年度、課題にあげた①児童生徒の呼称を含む人権の尊重 ②私費会計の計画的適正な執行 ③個人情報の適切な管理の徹底については、各学部、分掌を中心に取り組んできた。

それぞれ、おおよそ達成された。

次年度は、特に①正確な会計業務のためのマニュアルの見直しと適正な執行 ②個人情報の適切な取扱いの維持と継続的な見直し ③お互いに気付いたことを発信できる風通しよい職場を目指していきたい。